

## ◇学外学術・広報活動

[はじめに]

教育・研究を目的とした大学附属機関である栄養クリニックは、一般市民に食生活や健康に関する情報提供を行うだけでなく、この領域の専門機関や施設からの出張講演や取材の要請があれば、大学での研究成果を社会に広く還元する学術・広報活動の一つとして実施している。

本年度は、下表に示す出張講演1件、取材2件、奈良女子大学生との交流会があった。

実施日時	主催・講演題目・講師	対象者／取材社	開催場所
6/25 (月) 10時～15時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良女子大学生生活環境学部食物栄養学科と本学食物栄養学科との交流会</li> <li>・講演 小児栄養学とは？</li> <li>・講師 奈良女子大学食物栄養学科教授 久保田優</li> </ul>	奈良女子大学生生活環境学部食物栄養学科 4回生 8名 本学食物栄養学科4回生・大学院生 11名	栄養クリニック
9/5 (土) 10時～13時30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jhc 手作りパン普及会 ・定例講師会</li> <li>・講演 食中毒の実態と家庭でできる食中毒の予防 健康な食生活で生活習慣病を予防</li> <li>・講師 栄養クリニック指導員 木戸詔子</li> </ul>	Jhc 手作りパン普及会 会員 50名	大阪難波 「アワジヤ」
9/28 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都女子大学「藤花通信」代66号1面 見出し：女子力向上 料理教室開催</li> </ul>	京都女子大学新聞部	取材： 栄養クリニック
11/10 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本願寺新報 第3116号 8面 見出し：予約のとれない料理教室</li> </ul>	本願寺新報社	取材： 栄養クリニック

### 奈良女子大学との交流会

奈良女子大学から栄養クリニックの見学希望があり、本学学生との交流会を開催した。R棟会議室を使用し、久保田教授から「小児栄養学とは？」と題する講演を拝聴した。小児栄養の現状、疫学調査の重要性、肥満基準の国際比較、小児の虐待・臨床検査値基準、奈良市園児1,500人の栄養調査、小児がん栄養指導、若年女性の味覚等に関する研究を紹介された。その後、自己紹介を行い、実習室に移り自由トークの交流会を開催したところ大変盛り上がり時間延長した。昼食を学生食堂でとり、午後から栄養クリニック施設見学と栄養アセスメントを体験していただいた。

奈良女子大生からの感想は、施設が新しく清潔感があり、エレベーター、障害者用調理台、IH調理器、栄養相談室の指導デスク、ベビーシッターの完備等、様々な工夫が見られ、病院よりも健康度を気軽にチェックでき、しっかりしたバックアップのある施設で一般の方が安心して利用できると思った。在学中から一般の方とコミュニケーションをとり、管理栄養士の指導の様子を見学できる素晴らしい魅力ある施設でとても羨しい。この施設で学べる学生は、自

分の目指す管理栄養士像が明確になり、進路選択や勉学のモチベーション向上に繋がると思った。そして、この施設で働いている先生方がとても生き生きしているように見えた。

#### Jhc 手作りパン普及会での出張講演

午前の部では、主な食中毒菌の性質と発症事例を具体的にわかりやすく解説しながら紹介し、「家庭でできるハサップ」など、食中毒の予防法を具体的に説明した。30分の昼食を挟み、午後の部では人間らしく生きるための食事の重要性を認識していただくために、低栄養や高齢化に伴う筋肉量の減少と身体機能の関係、栄養と認知症・うつ病との関係、これらの予防のため



講演の様子

の栄養の取り方、日本型食生活の具体的な内容、食事バランスガイドの活用などについて講述し、「食事は体とこころのかけ橋である」ことを改めて認識していただいた。

#### 藤花通信

9月19日に学生生活支援行事の一環として開催した料理教室が紹介された（関連記事 p.50参照）。

和やかな雰囲気の中で、「簡単にできる和食」に挑戦し、参加者からの「楽しく料理ができた。下宿生なので一人で作ってみたい」などの感想や、指導の先生から「病気をしない体づくりのために食事を大切に」「将来、家庭をもったとき、家族と一緒に食べる機会を大切に」などの記事が紹介された。

#### 本願寺新報

栄養クリニックの運営目的・利用方法、新施設の紹介と10月11日の開催の「電子レンジで作る簡単和食」の料理教室が紹介された（関連記事 p.57参照）。

参加者からの「毎回参加し、料理することも楽しいが、台所の疑問に、わかりやすい答えくれる」「家では料理しないが、退職後のセカンドライフを楽しもうと参加している。先生、学生さんなどスタッフの方に質問しやすいので何度も参加している」などの感想が紹介された。

(木戸詔子)